


# 令和元年度 事業報告書



※この資料の「年度」は、「令和元年度」として統一した表記にしております。

## ◆令和元年度法人方針と活動状況について

### ◎はじめに・・・

令和元年5月1日、平成から令和に時代が移り変わりました。社会福祉法人も一般企業同様に、4月から「働き方改革」により組織が変わっていかねばならず、並行して「地域共生社会」をはじめ「協働化・大規模化」、「他分野との連携」などのキーワードにも対応していかなければなりません。

以和貴会においても、「働き方改革」の各項目について令和元年度より取り組みが始まり、有給休暇の取得率向上、時間外業務の削減に取り組んできました。しかしそれぞれを是正することが、「働き方改革」の趣旨ではなく、「時間意識の高い働き方」ができる職場の風土の実現、そのためには人材の育成を実現していかなければ、本当の意味の「働き方改革」とはなりません。全国経営協でも取り上げております「福祉人材の確保・育成・定着」が、当法人にとっても最重要課題であるため、取り組みを進めております。

一般企業の「人」が行なっている多くの業務は、近い将来、「人」から「機械」に移行すると言われる中、福祉の分野では、機械を有効的に活用することは必要であります。支援には、「人（の心）」でなければならぬこともあるため、「人材」に関する取り組みを重要な位置付けとしております。

令和元年11月22日に中国武漢で「原因不明のウイルス性肺炎」の最初の症例が確認されて以降、瞬く間に全世界に拡大しました。全世界で620万人（死者37万人）を超え、国によっては、まだまだ拡大している現状であります。日本においては、5月25日に全国で緊急事態宣言が解除されましたが、経済の回復と並行して、安全を考慮した「新しい生活様式」による暮らしを継続していかなければなりません。

以和貴会では、入所施設をはじめ通所事業においても、支援員をはじめ全職員が、最善を尽くし、安全に生活していただけるように、衛生管理の徹底、もしものためのマニュアルや備品設備の準備を進めてきました。ワクチンの完成が待ち遠しく、またこれまでの暮らしに戻れる日をみんなで待ち望んでおります。

令和2年度は、新型コロナウイルスの影響で、ボランティアによる活動や地域や行政の催事、以和貴会の行事などすべてが中止となってきております。ただ、この時期だからこそ地域の方々との協力が必要で、公益的な取り組みとしての「独居老人の見守り」など、社会福祉法人としての取り組みにも力を入れていかなければなりません。

# やる気、本気、以和気！

## 法人方針に対する各事業の目標設定と活動結果報告

### 1. 各事業 令和元年度取組み報告

#### □アクションプラン

今年度も毎月各管理者により実施をしております。報告は別紙のとおりであります。

### 2. 管理者からのアクションプラン評価

#### □ゆらくの里拠点

ゆらくの里の入所においては、退所者が出たため、新規で契約を行ないましたが、新規ご利用者の日中活動は、当法人の地域事業所を利用することとなり、ゆらくの里の生活介護利用者数が減少する要因となりました。（コロナウイルスにより外出制限した際には、地域事業所が利用できなかつたため、ゆらくの里の生活介護を利用いただきました。）

また日中活動は、活動や日課について、一部見直しを行ないましたが、人員不足のため大きく変更することができず、また実施できないこともありました。人員不足で時間に制限がありましたが、職員への育成として「トーキング」を実施し、個別で抱える問題の抽出とタイムリーな対応や次世代を担う職員に対し、違った角度でものを見ることを指導するなど直接実施することができました。

#### □今人拠点

通所事業所では、利用向上を図るため、新規利用者獲得のための活動を行なってきました。実習生は、年間で26名を受け入れ、活動に興味を持っていただきました。また、職員が工夫をして事業説明会を開催しましたが、退所者を差し引くと、1名増の結果となり、今後、支援学校や行政、相談支援事業との連携を取り、ニーズに合ったサービスを提供できる事業所として取り組んでまいります。

通所事業所においても、上司との話す機会を設け、風通しの良い職場づくりのために「トーキング」を重要視して取り組み、日常にコミュニケーションを取ることに心がけました。しかし多忙な状況においての「トーキング」は、継続が厳しく不定期の実施となってしまいました。また外部研修として「階層別人材育成研修」を受講させ、経験に応じ

た知識の取得、内部研修として「サポーターズカレッジ」をはじめ各研修にパート職員にも参加いただき、専門性の向上を図りました。

#### □地域拠点

##### ○放課後等デイサービス

開所日数を増加させることで、収入（収支）の改善を図りました。事前よりご利用者及び保護者にニーズを確認したうえでの実施であるため、利用率や開所意義は高くあります。実施職員は、放課後等デイ事業間、職員間で実施することを理解し、競わすことで、向上心を持って支援できる職員を育てております。

##### ○相談支援事業

配置された新任職員育成を中堅職員に任せ、中堅職員の指導力の向上とともに新任職員に専門知識等を学ばせ、相乗効果での成長を促しました。結果、良循環で成長を遂げ、委託を受けております市町村からの依頼は断ることなく行うことができ、結果は、収入にも反映されております。

##### ○共同生活援助事業（グループホームのあ）

環境整備と良質な運営基盤の構築を行なうために、まずは利用定員を満床にしました。満床の状況において、多種多様な方が生活する中で、「健康」を第一に考えた食事支援への取り組みを実施しました。結果、同年度内においては、高齢化しているご利用者層において入院することもなく健康を維持し過ごしていただきました。

○利用率

① ゆらくの里（入所支援事業） 定員 60名

	H31.4.1	増加	減少	R02.3.31	平均年齢	平均年数
男	31	3	0	34	49.7	18.4
女	19	1	2	18	53.6	22.2
計	50	4	2	52	51.1	19.7

※1名他施設、1名が療養型の病院へ異動。4名が新規で入所されました。

ゆらくの里（生活介護事業） 定員 60名

	H31.4.1	増加	減少	R02.3.31	平均年齢	平均年数
男	46	4	1	49	49.0	18.9
女	20	1	2	19	52.0	21.1
計	66	2	1	67	49.8	19.5

風鈴山荘（共同生活援助） 定員 14名

	H31.4.1	増加	減少	R02.3.31	平均年齢	平均年数
男	14	0	1	13	50.1	22.9
女	0	0	0	0	—	—
計	14	0	1	13	50.1	22.9

※平均年数は、ゆらくの里の入所と通算で記載

※1名の方が、令和2年1月に死亡により対処となりました。

② 今人

事業名	定員	H29年度 利用率	H30年度 利用率	R02年度	
				延べ人数	利用率
就労移行支援	6	69.3	46.3	251	36.1
就労継続B型	10	54.3	79.4	2013	78.9
生活介護事業	20	80.7	76.3	3925	76.7

※令和元年度より、就労移行支援事業の定員を10名⇒6名に変更

※就労移行支援事業は、令和2年3月31日をもって廃止

我楽

事業名	定員	H29年度 利用率	H30年度 利用率	R02年度	
				延べ人数	利用率
生活介護事業	20	115.6	98.6	5000	97.7
就労継続B型	10	100.6	108.6	2572	100.5

※平成30年6月より定員を15名⇒20名に変更

※平成30年度よりA型を廃止し、A型の活動は、すみれの里のB型へ吸収

すみれの里

事業名	定員	H29年度 利用率	H30年度 利用率	R02年度	
				延べ人数	利用率
生活介護事業	20	84.0	80.6	4347	84.9
就労継続B型	10	54.6	80.0	1597	62.9

※平成30年度より我楽A型の活動（食堂運営）はB型事業に吸収して運営

③ 放課後等デイサービス

事業名	定員	H29年度 利用率	H30年度 利用率	R02年度	
				延べ人数	利用率
ゆらくの里デイ	10	74.0	79.7	2086	81.8
はぐらいぶ	20	80.7	84.7	4463	87.2

のあ

事業名	定員	H29年度 利用率	H30年度 利用率	R02年度	
				延べ人数	利用率
共同生活援助	12	83.9	81.9	4332	98.6

○利用契約者数

通所事業所では、すみれの里生活介護事業にのみ新規契約者が利用開始されました。令和2年度において、ご利用者の増加を図るため、養護学校等を訪問して新規利用者の獲得を行なった。児童については、契約者が減少したものの、利用定員に対して2倍以上の契約を維持しており、80%以上の利用率を維持している。短期入所等に関しては、利用要望が絶えないが、週末に集中しているため、利用率向上にはつながっていません。

① 今人

事業名	定員	現在契約者数			対定員倍率
		平成31年4月1日	令和2年3月31日		
就労移行支援	6	4	2	↓	0.33
就労継続B型	10	10	9	↓	0.90
生活介護事業	20	17	16	↓	0.80

※令和元年度より、就労移行支援事業の定員を10名⇒6名に変更

※就労移行支援事業は、令和2年3月31日をもって廃止

我楽

事業名	定員	現在契約者数			対定員倍率
		平成31年4月1日	令和2年3月31日		
生活介護事業	20	23	23	→	1.15
就労継続B型	10	13	12	↓	1.20

※平成30年6月より、生活介護の定員を15名⇒20名に変更

すみれの里

事業名	定員	現在契約者数		対定員倍率
		平成31年4月1日	令和2年3月31日	
生活介護事業	20	19	21 ↑	1.05
就労継続B型	10	8	7 ↓	0.70

② 放課後等デイサービス

事業名	定員	現在契約者数		対定員倍率
		平成31年4月1日	令和2年3月31日	
ゆらくの里デイ	10	26	25 ↓	2.50
はぐらいぶ	20	63	60 ↓	3.00

③ 短期入所及び日中一時支援事業

事業名	定員	現在契約者数		対定員倍率
		平成31年4月1日	令和2年3月31日	
短期入所	10	61	67 ↑	6.70
日中一時支援事業	10	61	66 ↑	6.60

□令和元年度職員状況について

令和1年度は、正職員及びパート職員ともに増員となりましたが、ゆらくの里など人員不足の解消には至っておりません。

採用は、新卒4名、中途採用4名（2名は、調理師等）の8名を採用し、うち、4名をゆらくの里にて採用しました。また退職は5名ですが、平成31年3月31日付の退職が3名おり（うち2名がゆらくの里職員）、期中での退職者は2名のみで、前年度に引き続き、安定して雇用が継続されております。

令和2年度の新卒採用は1名でした。中途採用を含め、ゆらくの里の職員不足を補っていかなければならないだけでなく、各事業において、次世代の管理者候補者の育成を進めていかなければなりません。新型コロナウイルスによる経済の後退により、他産業の採用が、大きく減少する中において、効率よく良い学生を採用できるように活動を進めてまいります。

事業名	H31. 3. 31			R2. 3. 31										
	人数			人数			常勤 換算	平均勤続年数			平均年齢			
	男	女	計	男	女	計		男	女	計	男	女	計	
<b>ゆらくの里</b>														
サービス管理責任者	2	0	2	2	0	2		7.9	7.3	7.6	38.0	42.0	40.0	
正職員	13	13	26	13	15	28	28.0							
パート職員	6	9	15	6	9	15	8.6							
計	21	22	43	21	24	45	36.6							

事業名	H30.3.31			R2.3.31			常勤 換算	平均勤続年数			平均年齢		
	人数			人数				男	女	計	男	女	計
	男	女	計	男	女	計							
<b>今人</b>													
サービス管理責任者	1	0	1	1	0	1		9.5	4.2	7.7	38.4	37.7	38.2
正職員	3	2	5	3	2	5	5.0						
パート職員	1	6	7	1	6	7	3.4						
計	5	8	13	5	8	13	8.4						
<b>我楽</b>													
サービス管理責任者	1	0	1	1	0	1		4.1	6.6	4.8	38.9	40.0	39.3
正職員	5	3	8	7	3	10	10.0						
パート職員	1	12	13	2	16	18	9.6						
計	7	15	22	10	19	29	19.6						
<b>すみれの里</b>													
サービス管理責任者	1	0	1	1	0	1		8.1	9.3	8.5	41.9	43.9	42.6
正職員	3	3	6	3	2	5	5.0						
パート職員	2	13	15	2	15	17	7.8						
計	6	16	22	6	17	23	12.8						
<b>ゆらくの里デイ</b>													
児童発達支援管理責任者	1	0	1	0	1	1		3.0	4.8	4.4	25.7	25.1	25.3
正職員	0	3	3	1	2	3	3.0						
パート職員	1	0	1	1	0	1	0.7						
計	2	3	5	2	3	5	3.7						
<b>はぐ・らいぶ</b>													
児童発達支援管理責任者	1	1	2	2	0	2		10.5	3.2	5.6	46.1	26.4	33.0
正職員	1	4	5	0	4	4	4.0						
パート職員	2	2	4	1	2	3	1.7						
計	4	7	11	3	6	9	5.7						
<b>しえ〜く</b>													
正職員	0	2	2	0	2	2	2.0	-	2.7	2.7	-	37.9	37.9
パート職員	0	1	1	0	1	1							
計	0	3	3	0	3	3							
<b>事業企画推進室</b>													
正職員	1	1	2	2	0	2	1.0	13.5	-	13.5	39.1	-	39.1
パート職員	-	-	-	-	-	-							
計	1	1	2	2	0	2							
<b>のあ</b>													
サービス管理責任者	1	0	1	1	0	1		4.9	13.0	9.0	45.9	54.9	50.4
正職員	0	1	1	0	1	1	1.0						
パート職員	0	6	6	1	7	8	2.2						
計	1	7	8	2	8	10	3.2						
<b>そーる</b>													
サービス提供責任者	1	0	1	1	0	1		14.0	-	14.0	41.7	-	41.7
正職員	-	-	-	-	-	-							
パート職員（登録）	1	2	3	1	3	4							
計	2	2	4	2	3	5							
<b>管理・厨房</b>													
正職員	5	3	8	5	4	9	10.0	9.8	11.0	10.2	46.9	48.5	47.5
パート職員	4	8	12	3	7	10	6.0						
計	9	11	20	8	11	19	16.0						
<b>合計</b>													
サービス管理責任者	9	1	10	9	1	10		8.1	6.8	7.5	40.2	39.4	39.8
正職員	31	35	66	34	35	69							
パート職員	18	59	77	18	66	84							
計	58	96	154	61	102	163							

※看護師はゆらくの里に含み、アルバイト職員は含んでいない。  
 ※パート職員の常勤換算数は、簡易算出として給与支給計算期間の令和2年3月支給の給与期間により算出しているため、あくまで参考である。（常勤の月勤務時間数を165時間で計算）  
 ※合計欄の「サービス管理責任者」には、「児童発達支援管理責任者」及び「サービス提供責任者」を含む。  
 ※そーるのパートは、法人外の雇用ヘルパーのみ記載し、職員の兼務者は含まない。



## □令和元年度残業について

平成31年4月1日からの「働き方改革」の1つとして、「残業時間の上限」が設けられました。「早く出勤しすぎない、遅くまで残らない」取り組みを行なった結果、大幅に残業時間の申請は減少し、国の施策通りの結果を残すことができました。しかし、実質を確認すると、「打刻の調整（退勤後の勤務など）」があり、申請残業時間の減少に過ぎず、実質の見直しを行なっていかなければなりません。

### 〔時間〕

単位：時間

拠点	H29年度	H30年度	R02年度			
			人	時間	増減率	1人/月
ゆらくの里	6448.0	7273.50	44	3228.25	△55.6%	6.33
今人	2119.00	2253.75	10	1326.75	△41.1%	9.75
地域	2646.75	3039.00	20	2449.25	△19.4%	11.28
計	11213.75	12566.25	74	7004.25	△44.2%	8.11

### 〔金額〕

単位：千円（1人当たりは円）

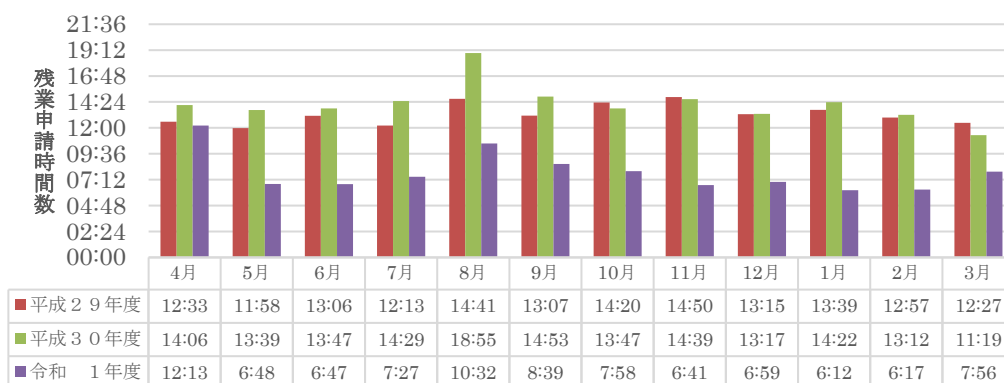
拠点	H29年度	H30年度	R02年度			
			人	金額	増減率	1人/月
ゆらくの里	10,998	12,882	44	5,785	△55.1%	10,814
今人	3,664	3,936	10	2,389	△39.3%	17,571
地域	4,437	4,841	20	3,980	△17.8%	18,342
計	19,100	21,660	74	12,155	△43.9%	13,689

※ゆらくの里の中には、直接支援者以外（管理、厨房など）の職員を含む。

※集計は申請分のみ

※職員数（人）は、時間外を申請した職員数（途中退職者含む）で、管理者は除く。

### 法人全体 一人当たり残業時間数



## □令和元年度有給休暇取得について

「時間外労働」同様、平成31年4月より、「働き方改革」の一環として、年間10日以上の有給休暇が支給されている職員（パート含む）には、年5日の有給休暇を取得しなければならなくなりました。5日取得が義務化されたことで、未取得者はいなくなり、取得日数も2～3倍に増加しました。職員への福利厚生面では、大きな改善となりましたが、運営する法人としては、パート職員の取得を含め、実勤務のない人件費の増加に、実勤務していただく職員の雇用が必要となり、当法人規模かつ社会福祉法人運営にとって、厳しい現実となっております。

拠点	H29年度	H30年度	R02年度			
	取得日数	取得日数	人	取得日数	1人当たり取得日数	未取得者数
ゆらくの里	50.5	116.5	46	385.0	8.36	0
今人	37.5	74.5	12	130.0	10.83	0
地域	60.5	54.0	19	164.5	8.65	0
計	148.5	245.0	116	679.5	8.82	0

※資料は、退職者も含む同期間の職員全員を対象とする。

※ゆらくの里の中には、直接支援者以外（管理、厨房など）の職員を含む。

※各事業の管理者を含む。

## □令和元年度事業活動収入対人件費比率について

法人全体として人件費は、「働き方改革」による減少に、収入の増加が伴ったことで、人件費率は、66.1%と大幅に改善されました。今後もこの水準を維持できるように、収入の増加を図っていかねばなりません。

### 《ゆらくの里拠点》

- ・収入は、わずかではありますが減少しました。しかし、それ以上の人件費の削減により、わずかではありますが改善されました。

### 《今人拠点》

- ・人件費が増加しましたが、収入もそれ以上に増加することができたことで、割合は大きく減少しました。

### 《地域拠点》

- ・福祉収入が大きく改善されたうえに、人件費が減少しあったため、大幅な改善につながりました大幅な改善につながりました。

[比率]

拠点	H29 年度	H30 年度	R01 年度	
			人件費率	前年度比較
ゆらくの里	66.0%	66.9%	<b>66.3%</b>	△0.6%
今人	69.0%	81.7%	<b>67.0%</b>	△14.7%
地域	76.5%	81.4%	<b>64.2%</b>	△17.2%
計	68.3%	73.1%	<b>66.1%</b>	△7.0%

※分母の収入には就労収入を含んでおります。就労収入を差引くと法人全体で 70.0% となります。

[金額]

単位：千円

拠点	H29 年度	H30 年度	R01 年度		
			人件費	前年度比較	増減率
ゆらくの里	276,496	279,914	<b>277,083</b>	△2,830	98.9%
今人	93,217	98,798	<b>102,206</b>	+3,407	103.4%
地域	141,550	150,057	<b>145,962</b>	△4,095	97.2%
計	511,264	528,770	<b>525,252</b>	△3,518	99.3%

## □令和元年度上期光熱水費について

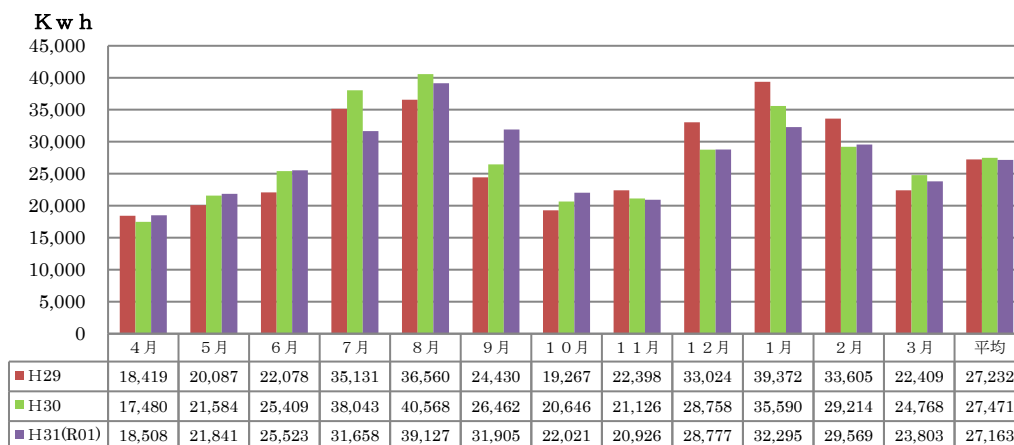
### ① ゆらくの里拠点

ゆらくの里では、環境班を中心に光熱水費のムダを減らすための取り組みを続けております。使用していない部屋の電気やエアコンの確認、無駄な水の使用をなくすように取り組みをしております。7月～10月頃にかけて水道使用量が大幅に増加しております。これは、お湯の配管からの漏水であり、夏の使用量増加と勘違いしたため、発見が遅れる結果となりました。

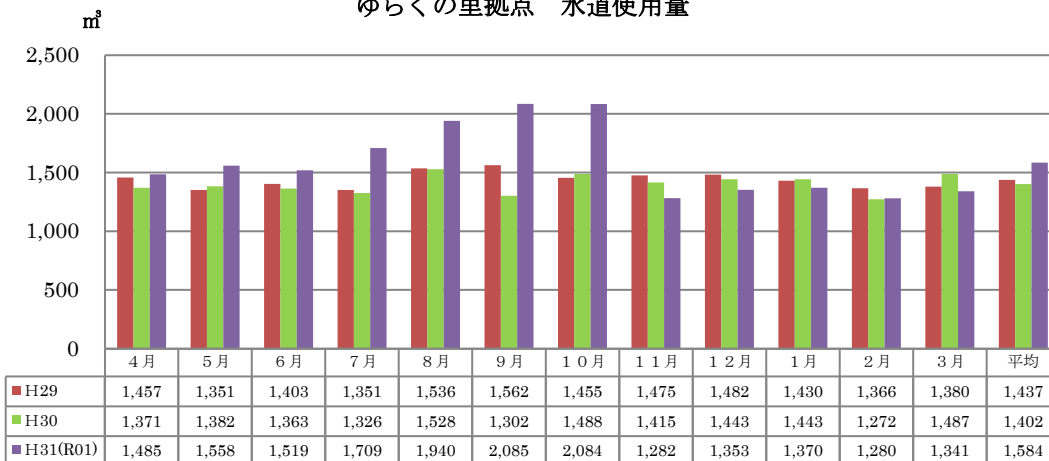
	平成 30 年度	令和元年度	対前年度上期比較	
			使用量	金額
電気	6,936 千円	<b>6,004 千円</b>	98.8%	86.5%
水道	5,055 千円	<b>5,764 千円</b>	113.0%	114.0%

※上記数字は、ゆらくの里拠点で使用している実金額を表記しております。しかし、会計上の金額には、他拠点の按分負担分等も付加されているため金額が一致しません。

### ゆらくの里拠点 電気使用量



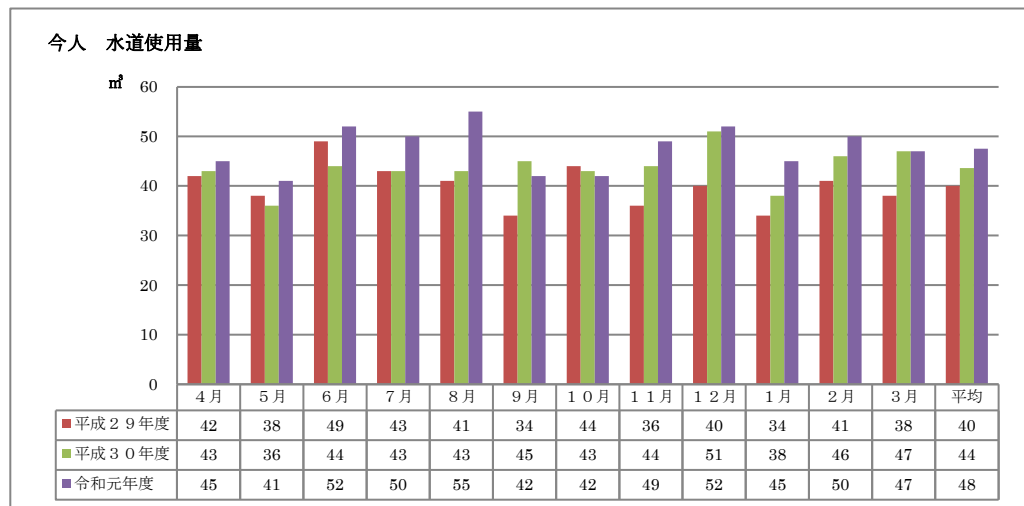
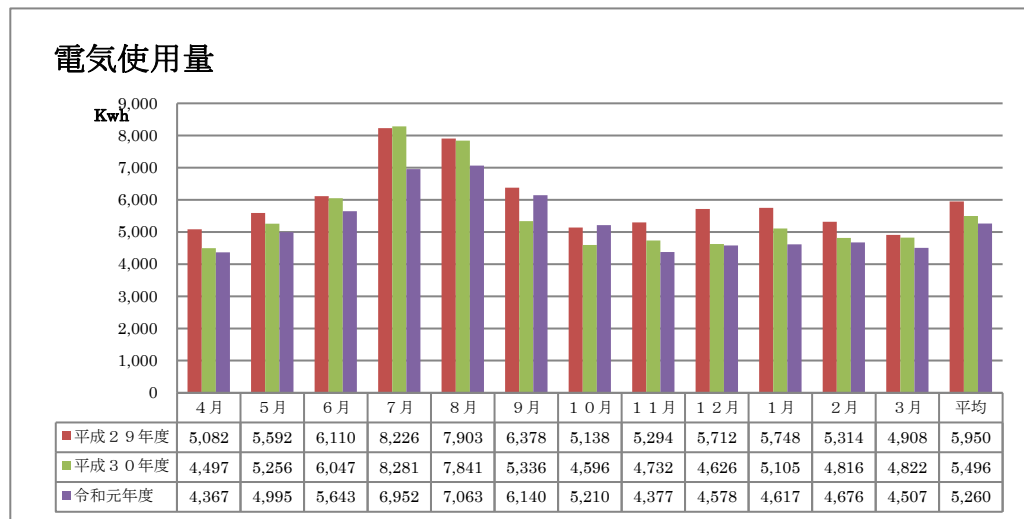
### ゆらくの里拠点 水道使用量



② 今人拠点（今泉）

前年度に引き続き、電気は、使用量の改善が見られます。その反面、水道使用量は、1割を超える増加がありました。就労活動としてパンの製造を行なっておりますが、売上の減少に反比例した結果となっており、使用状況の調査を行なう必要があります。

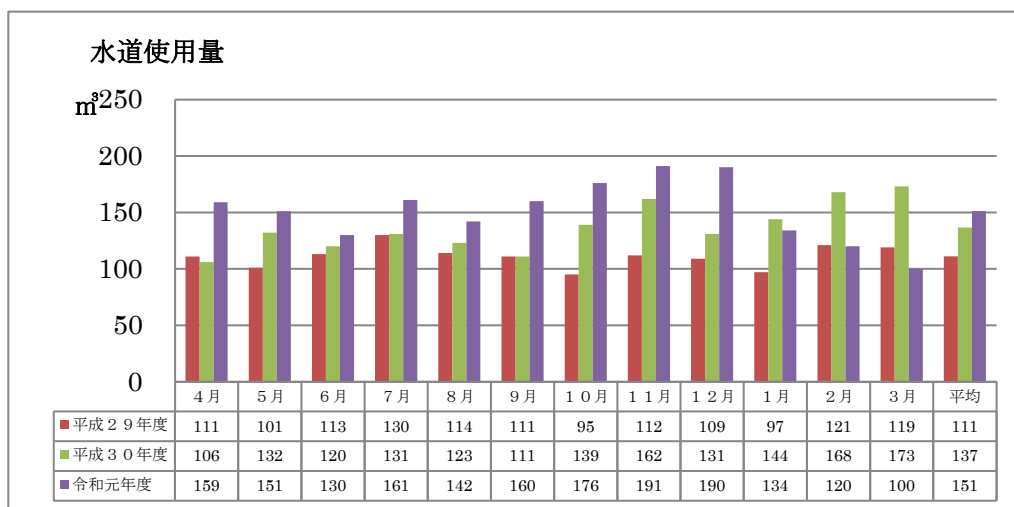
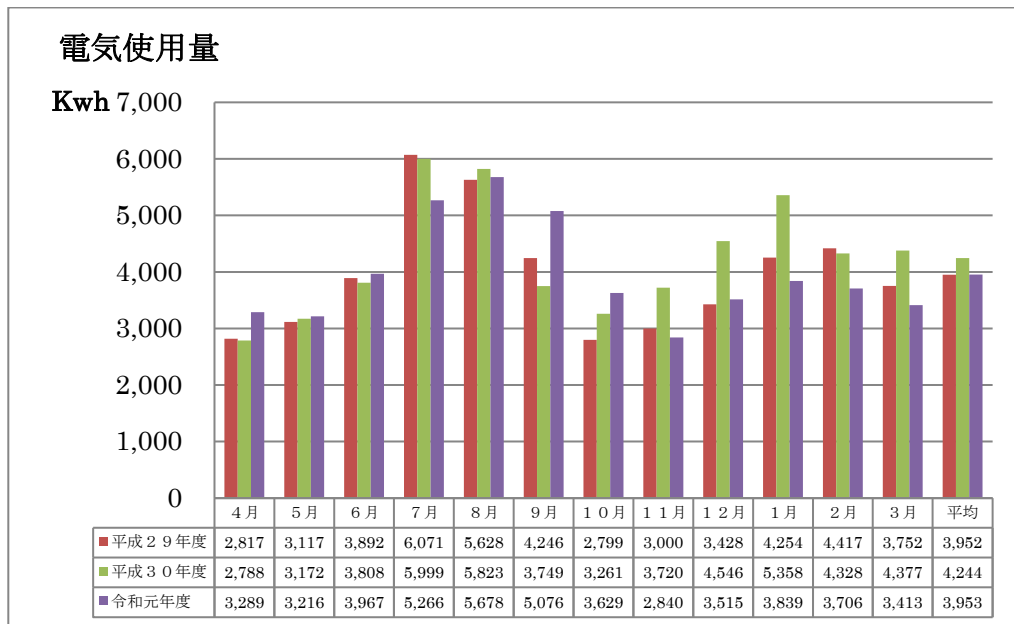
	平成30年度	令和元年度	対前年度上期比較	
			使用量	金額
電気	1,520 千円	<b>1,204 千円</b>	95.7%	79.2%
水道	110 千円	<b>125 千円</b>	113.4%	109.0%



③ そら（福祉センター内）

「そら」での売上が回復している訳ではありませんが、水道使用量の上昇が12月までの各月で起こっております。これは、流水冷却や給水解凍による使用増と考えられ、著しい増加となりました。冷却等は必要であります、著しい増加にならないように対応いただくようにします。（1月以降の減少は、弁当販売の減少及びコロナウイルスが影響しております。）

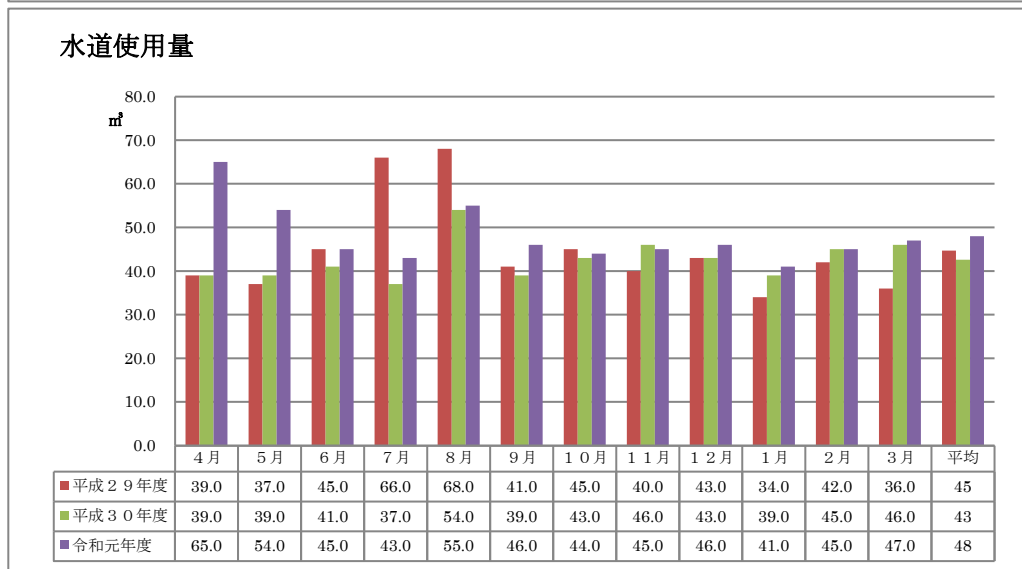
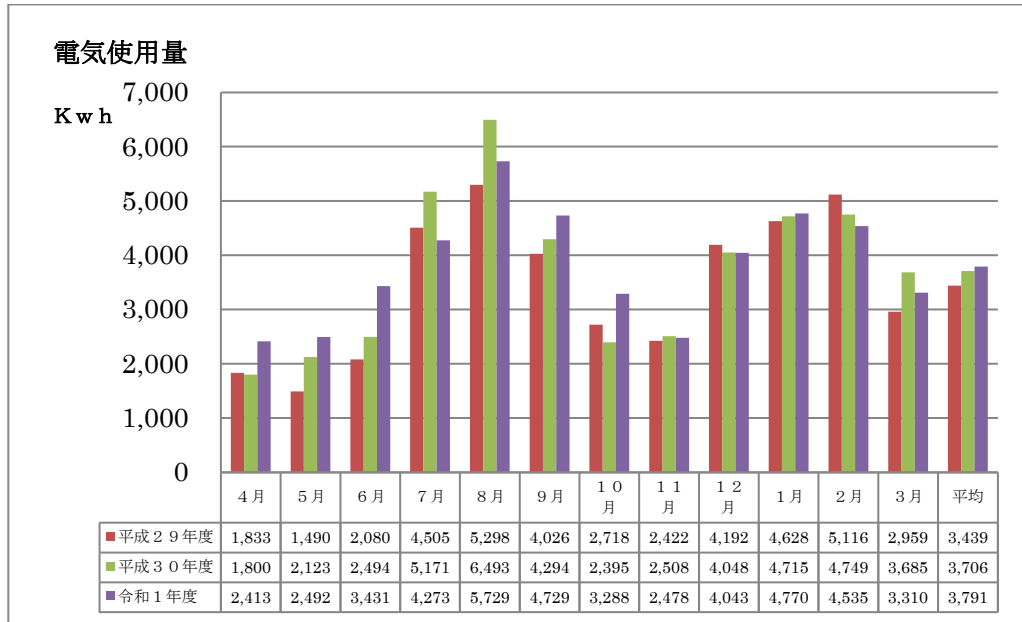
	平成30年度	令和元年度	対前年度上期比較	
			使用量	金額
電気	774千円	<b>726千円</b>	93.1%	93.8%
水道	673千円	<b>750千円</b>	124.9%	111.4%



④ すみれの里

電気、水道ともに増加傾向にあります。エアコンの温度設定、切り忘れなど使用方法に問題があったことが報告されております。基準設定（マニュアル化）などを行なう必要があります。

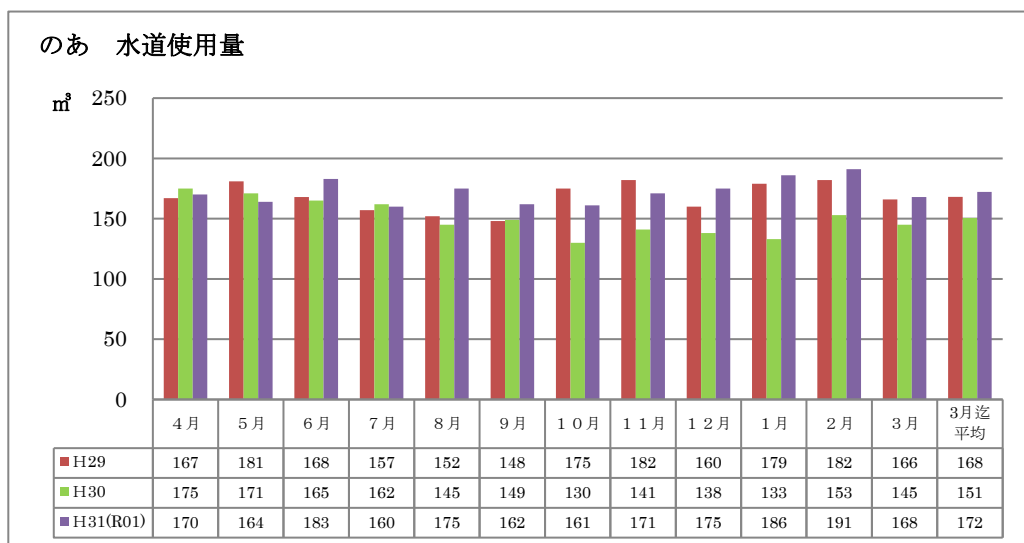
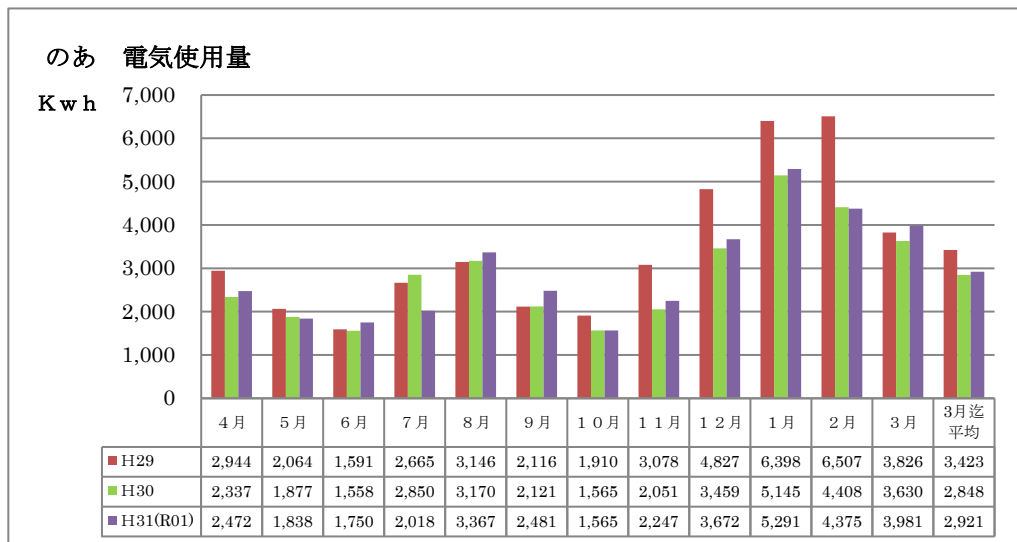
	平成 30 年度	令和元年度	対前年度上期比較	
			使用量	金額
電気	1,278 千円	<b>1,298 千円</b>	102.3%	101.5%
水道	191 千円	<b>219 千円</b>	56.4%	114.4%



⑤ のあ（穴虫 グループホーム）

電気、水道ともに、前年度より若干の増加傾向にあります。定員が満床となり、ご利用者が増加していることを考慮すれば、ムダをなくし節約できているものと考えられます。設備が古くなっている現状、今後機器の入れ替えなど購入費が増加することとなりますが、電気代などを更に下げることが可能となっていきます。

	平成 30 年度	令和元年度	対前年度上期比較	
			使用量	金額
電気	873 千円	<b>853 千円</b>	102.6%	97.7%
水道	294 千円	<b>344 千円</b>	114.3%	117.0%

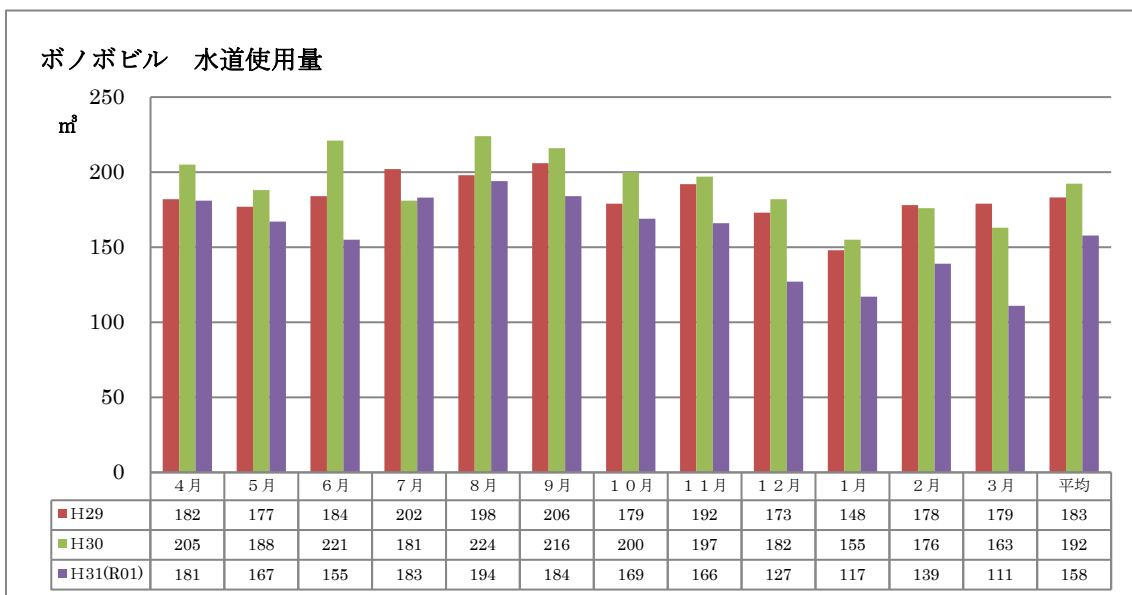
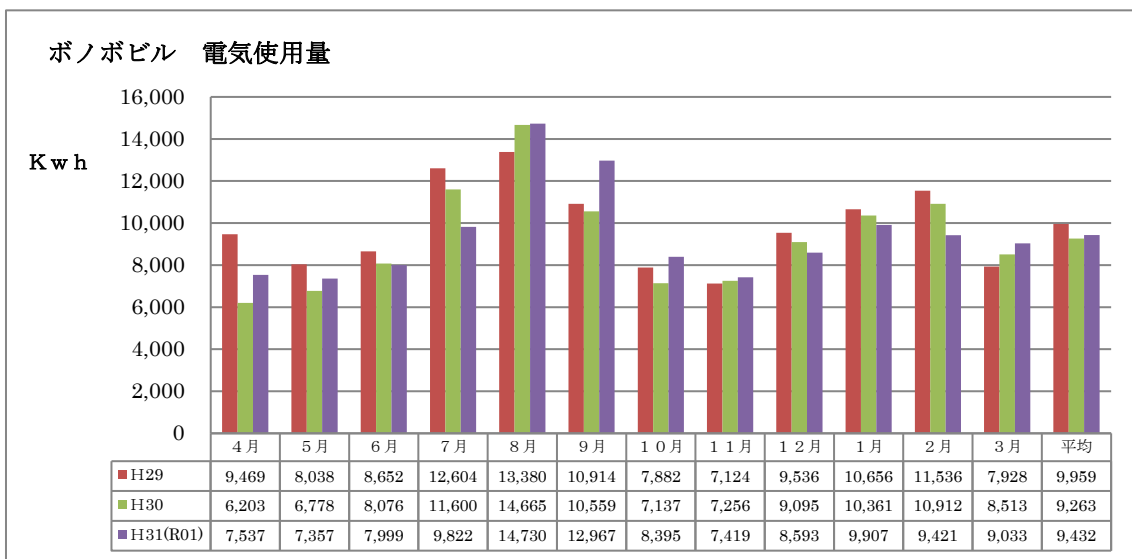




⑥ ボノボビル（磯壁 地域拠点）

光熱水費は、ビルの使用だけでなく、お店（カフェ）の運営、工房での製造により変動します。延べ面積が広いだけに、無駄のないように意識していただく必要があります。なお、水道使用量は大きく減少してきております。

	平成 30 年度	令和元年度	対前年度上期比較	
			使用量	金額
電気	3,593 千円	<b>3,377 千円</b>	101.8%	93.9%
水道	468 千円	<b>369 千円</b>	82.0%	78.8%



## □令和元年度就労支援施設の就労金について

令和元年度は、就労継続 B 型事業は、1 人当たりの支給工賃は減少しました。特にすみれの里の B 型事業のうち、そら（レストラン業）は、平成 30 年度は、A 型から切り替わったすぐの年で、約半年間、給与保証を行っていた影響もあり、大幅な支給減少となりました。

○各事業における 1 人 1 カ月当たり支給の工賃（賃金）

（単位：円）

		平成 30 年度		令和元年度		
		工賃総額	1 人当たり/月	工賃総額	1 人当たり/月	
今人	就労移行	664,400	11,455	422,568	15,092	↑
	就労継続 B 型	1,685,494	19,153	1,834,837	18,915	↓
	生活介護	2,479,450	11,863	2,626,694	12,568	↑
	計	4,829,344	13,604	4,884,099	14,623	↑
我楽	就労継続 B 型	3,497,858	23,012	3,199,062	19,870	↓
	生活介護	583,835	2,678	686,385	3,365	↑
	計	4,081,693	11,032	3,885,447	10,645	↓
すみれの里	就労継続 B 型	4,483,363	36,749	2,240,670	23,430	↓
	生活介護	—	—	729,540	2,643	—
	計	4,483,363	36,749	2,970,210	7,963	↓
合 計		13,394,400	15,814	11,739,756	10,951	↓

○各事業の就労収入に占める工賃（賃金）割合

		平成 30 年度	令和元年度	
今人	就労移行	29.3%	26.6%	↓
	就労継続 B 型	55.3%	59.7%	↑
	生活介護	26.2%	30.4%	↑
	計	32.7%	36.7%	↑
我楽	就労継続 B 型	17.6%	14.8%	↓
	生活介護	1189.3%	1955.5%	↑
	計	20.5%	18.0%	↓
すみれの里	就労継続 B 型	32.5%	18.7%	↓
	生活介護	—%	573.4%	↑
	計	32.5%	24.5%	↓
合 計		25.0%	27.7%	↑

※就労収入には、内部売上を含む。

## □令和元年度固定資産の推移について

各設備が老朽化してきており、そのため、主に更新及びゆらくの里の改築工事費用が発生しました。今後、同様に老朽化に対する更新費用が発生することとなるため、毎年の積立を充実させ、急な運転資金の取り崩しがないように対応していかなければなりません。

### ◎取得一覧

単位：円

内容	金額	拠点区分	予算
<b>《建物》</b>			
ゆらくの里 エアコン圧縮機	560,520	ゆらくの里	
ボノビル 外部ガラス改修	7,700,000	地域	
<b>《車両運搬具》</b>			
すみれの里 公用車入替（軽 福祉車両）	1,670,000	今人	
<b>《器具備品》</b>			
カフェ 厨房内エアコン	572,400	地域	
カフェ 冷凍庫	226,800	地域	
管理部 パソコン	113,184	ゆらくの里	○
しえーく パソコン	113,184	地域	○
管理部 パソコン	108,864	ゆらくの里	○
ゆらくの里 厨房ガス給湯器	324,000	ゆらくの里	
ゆらくの里 厨房 IH 炊飯ジャー	143,749	ゆらくの里	
ゆらくの里 厨房フードプロセッサー	113,299	ゆらくの里	
ボノビル 電気温水器	136,400	地域	
今人 品質表示ラベルプリンター	242,000	今人	
管理部 データサーバー入れ替え	774,620	本部	
<b>《建設仮勘定》</b>			
ゆらくの里 設計費用	32,567,000	ゆらくの里	○
計	45,366,020		

## □令和元年度修繕費の推移について

### 1. 過去3年間の推移

令和元年度は、ボノビルの改修（福祉施設として使用するための対応）を実施したため、地域拠点の修繕が大きく増加しました。その他の拠点については、増減はあるものの、主だった要因が発生したわけではありません。

単位：円

拠点	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
ゆらくの里	3,094,838	4,483,399	2,480,242
今人	1,860,073	219,538	671,900
地域	1,555,772	811,639	4,237,573
計	6,510,683	5,514,576	7,389,715

### 2. 修繕事業別内訳

ゆらくの里においては、老朽化により各設備の修繕が主だった修繕内容であり、地域拠点は、ボノビルの改修工事であります。

単位：円

分類	ゆらくの里	今人	地域	計
水回り（機械含む）	1,200,478	290,100	500,890	1,991,468
ガラス	75,090	—	—	75,090
その他設備	1,204,674	214,700	3,484,045	4,903,419
製造原価	—	167,100	252,638	419,738
計	2,480,242	671,900	4,237,573	7,389,715

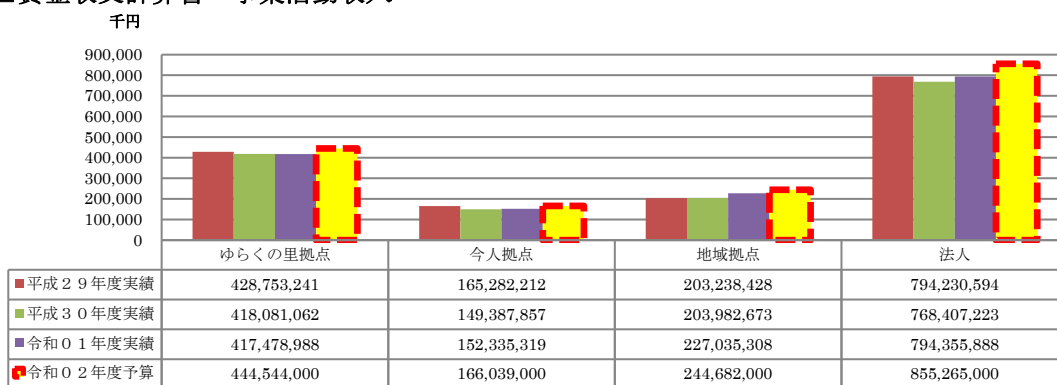
## □令和元年度 経営成績について

平成30年度は、事業活動収入及び事業活動収支差額が大きく減少し、当期資金収支差額においては、28,083,226円もの赤字となりました。ゆらくの里の改築工事計画や通所事業の将来計画を目前にした令和元年度は、事業活動収支差額100,000,000円（対収入比12.5%）を目標に、経営改善を図りました。

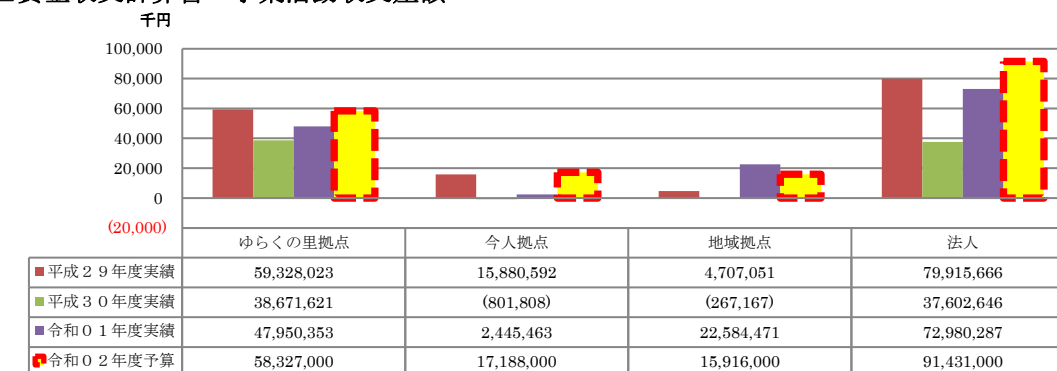
その中で、平成31年4月から「働き方改革」がスタートして、時間外労働の削減や有給休暇の取得義務など、営利目的ではない福祉業界においては、経営を困難にする要因となりました。時間外申請は40%以上も削減でき、手当支給が削減された結果となりましたが、現在の職員数や配置から、働き方を急に切り替えることは困難であり、業務量としては、削減されることはありませんでした。また、有給休暇の取得義務により、配置に穴を空けないために、パート職員の配置増など、これまでになかったところでの人件費の発生が起きることとなりました。

経営改革においては、利用者増等を図り、事業活動収入及び事業活動収支差額は、平成29年度（前々期）レベルまで回復することはでき、事業活動収入794,355,888円（前期比103.3%）、事業活動収支差額72,980,287円（前期比194.0%）と改善されました。しかし目標とする事業活動収支差額100,000,000円には届かず、積立金や運転資金を大きく増加させることはできませんでした。

### ■資金収支計算書 事業活動収入



### ■資金収支計算書 事業活動収支差額



## ○拠点別報告

### 1. 法人全体として

資金収支計算書において、事業活動収入は、前期比 103.3% (25,948,665 円増) の 794,355,888 円となりました。また人件費をはじめ、各支出分類で削減を図り、事業活動支出は、前期比 98.7% (9,428,976 円減) の 721,375,601 円、結果、事業活動収支差額は、前期比 194.0% (35,377,641 円増) の 72,980,287 円と約 2 倍の収支差額を残すことができました。

収入の内訳として、就労収入は、「ふえりーちえ、そら、モンステラ」と 3 本柱すべてが減収となりましたが、僅かの減少でおさまり、一方、福祉収入が、重度加算等算定できる加算を取得した増加及び定員に満たない事業の増員を図り改善することができました。

費用は、ポノビル壁の修繕（事業費）2,970,000 円、重度加算の算定ミスによる返還 1,956,538 円など増加要素もありましたが、多くの項目で減少したことで、大きく減少しました。

#### 《要約事業活動収支計算書》

単位：円

	H30 年度	R01 年度	増減
事業活動収入	768,407,223	794,355,888	25,948,665
事業活動支出	730,804,577	721,375,601	▲9,428,976
事業活動収支差額	37,602,646	72,980,287	35,377,641

#### 《事業活動収入》

単位：円

	H30 年度	R01 年度	増減
就労事業収入	45,238,314	44,336,534	▲901,780
福祉サービス収入	715,471,125	740,144,975	24,673,850
その他	7,697,784	9,874,379	2,176,595
計	768,407,223	794,355,888	25,948,665

#### 《事業活動支出》

単位：円

	H30 年度	R01 年度	増減
人件費	528,770,905	525,252,113	▲3,518,792
事業費	94,100,977	93,707,929	▲393,048
事務費	54,788,444	51,505,038	▲3,283,406
就労支援事業支出	47,521,670	44,249,400	▲3,272,270
その他	5,622,581	6,661,121	1,038,540
計	730,804,577	721,375,601	▲9,428,976

## 2. ゆらくの里拠点

### 《要約事業活動収支計算書》

単位：円

	H30 年度	R01 年度	増減
事業活動収入	418,081,062	417,478,988	▲602,074
事業活動支出	379,409,441	369,528,635	▲9,880,806
事業活動収支差額	38,671,621	47,950,353	9,278,732

### 《事業活動収入》

事業活動収入は、前期比 99.8%（602,074 円減）の 417,478,988 円となりました。高齢及び病状の重篤化により他施設及び病院へ換わられ、入所者が減少しました。新たに入所された方は、日中活動の場を当法人の地域事業所にて活動されることとなったため、生活介護事業の定員が大きく割れ収入減となりました。地域事業を利用される入所者がゆらくの里の生活介護を利用に切り替えていただくためにも、ゆらくの里の日中活動の見直しを行ない、充実することが必要であります。

単位：円

	H30 年度	R01 年度	増減
就労事業収入	—	—	—
福祉サービス	412,007,217	409,399,075	▲2,608,142
その他	6,073,845	8,079,913	2,006,068
計	418,081,062	417,478,988	▲602,074

### 《事業活動支出》

事業活動支出は、前期比 97.3%（9,880,806 円減）の 369,528,635 円となりました。多くの費用項目で減少しました。（平成 30 年度は、厨房改装等による修繕費や食器の更新などによる支出が発生。）「その他」費用の増加要因は、平成 30 年度の重度加算の返還であります。（1,956,538 円）

単位：円

	H30 年度	R01 年度	増減
人件費	279,914,243	277,083,318	▲2,830,925
事業費	69,173,432	62,808,168	▲6,365,264
事務費	26,217,126	24,103,565	▲2,113,561
就労支援事業支出	—	—	—
その他	4,104,640	5,533,584	1,428,944
計	379,409,441	369,528,635	▲9,880,806

### 3. 今人拠点

#### 《要約事業活動収支計算書》

単位：円

	H30 年度	R01 年度	増減
事業活動収入	149,387,857	152,335,319	2,947,462
事業活動支出	150,189,665	149,889,856	▲299,809
事業活動収支差額	▲801,808	2,445,463	3,247,271

#### 《事業活動収入》

事業活動収入は、前期比 101.9%（2,947,462 円増）の 152,335,319 円となりました。増加要因は、すみれの里の生活介護事業における福祉サービス収入が、重度加算算定により大きく増加しました。一方、就労 3 本柱のうちの「ふえりーちえ」（パン製造販売）「そら」（レストラン業）が落ち込み、就労収入は 10%以上の減少となりました。

単位：円

	H30 年度	R01 年度	増減
就労事業収入	28,489,034	25,344,564	▲3,144,470
福祉サービス	120,180,463	126,253,066	6,072,603
その他	718,360	737,689	19,329
計	149,387,857	152,335,319	2,947,462

#### 《事業活動支出》

事業活動支出は、前期比 99.8%（299,809 円減）の 149,889,856 円とほぼ横ばいの結果となりました。3 拠点のうち、唯一、人件費が増加した拠点であり、就労収入の減少に伴い、就労支援事業支出は減少しましたが、その他の費用項目は、あまり増減のない結果となりました。

単位：円

	H30 年度	R01 年度	増減
人件費	98,798,782	102,206,434	3,407,652
事業費	11,386,714	11,683,812	297,098
事務費	11,874,025	11,188,104	▲685,921
就労支援事業支出	27,668,272	24,440,616	▲3,227,656
その他	461,872	370,890	▲90,982
計	150,189,665	149,889,856	▲299,809



#### 4. 地域拠点

##### 《要約事業活動収支計算書》

単位：円

	H30 年度	R01 年度	増減
事業活動収入	203,982,673	227,035,308	23,052,635
事業活動支出	204,249,840	204,450,837	200,997
事業活動収支差額	▲267,167	22,584,471	22,851,638

##### 《事業活動収入》

事業活動収入は、前期比 111.3% (23,052,635 円増) の 227,035,308 円となりました。就労収入も 3 本柱のうちの 1 つ「カフェ」の減少があったものの、クッキー工房での売上（製菓）販売が伸びました。また福祉サービス収入は、我楽の生活介護事業における重度加算の算定及び共同生活援助事業の空き定員を埋めることができたこと、放課後等デイサービスの利用率の向上など、多くの事業で運営改善が図られました。

単位：円

	H30 年度	R01 年度	増減
就労事業収入	19,793,649	21,485,697	1,692,048
福祉サービス	183,283,445	204,492,834	21,209,389
その他	905,579	1,056,777	151,198
計	203,982,673	227,035,308	23,052,635

##### 《事業活動支出》

事業活動支出は、前期比 100.0% (200,997 円増) の 204,450,837 円となりました。人件費が大きく減少しましたが、ボノボビルの壁の修繕を行なったことで事業費が増加。結果的に費用は、ほぼ横ばいの増加となりました。就労事業収入が大幅増となった中で就労支援事業支出の減少は、改善を図った結果であります。

単位：円

	H30 年度	R01 年度	増減
人件費	150,057,880	145,962,361	▲4,095,519
事業費	15,497,214	20,655,879	5,158,665
事務費	17,560,879	17,076,142	▲484,737
就労支援事業支出	20,077,798	19,999,808	▲77,990
その他	1,056,069	756,647	▲299,422
計	204,249,840	204,450,837	200,997

## 5. 就労事業活動

### 《活動別収入》

就労事業において、10の活動を提供しておりますが、前年度比較で収入増となった事業は、3事業のみであります。(前年度2事業)また活動の柱であります「パン製造販売(ふえりーちえ)」「レストラン業(そら)」「カフェ(モンステラ)」の3事業は、そろって減少したため、全体でもマイナスとなりました。この現状においても、工賃を支払い、積立もできる活動もありますが、工賃すら支払えない活動もあります。活動の見直しの過渡期であり、再構築が必要であります。

単位：円

活動名		H30年度	R01年度	増減	
今人	ふえりーちえ(パン)	12,153,633	10,585,672	▲1,567,961	87.1%
	そうじや(掃除)	2,360,653	2,388,210	27,557	101.2%
	内職	223,449	298,572	75,123	133.6%
	計	14,737,735	13,272,454	▲1,465,281	90.0%
我楽	菓子	5,425,121	8,610,138	3,185,017	158.7%
	カフェ	14,368,979	12,911,169	▲1,457,810	89.9%
	内職	49,089	35,099	▲13,990	71.5%
	計	19,843,189	21,556,406	1,713,217	108.6%
すみれ	BDF	497,089	414,069	▲83,020	83.3%
	畑	253,700	164,882	▲88,818	65.0%
	内職	169,840	12,736	▲157,104	7.5%
	レストラン	12,835,470	11,363,199	▲1,472,271	88.5%
	計	13,756,099	11,954,886	▲1,801,213	86.9%
合計		48,337,023	46,783,746	▲1,553,277	96.7%

※内部売上を含む。

### 《活動別収支》

収入が大きく減少した柱の3事業は、収支改善が進んでいるため、大きな黒字運営ができております。しかし一方で、就労継続B型事業運営において、職員配置が過剰であり、就労収支に問題はありますが、就労継続B型事業の運営が赤字化しているため、見直しが必要であります。

単位：円

活動名		売上	経費	利益	利益率
今人	ふえりーちえ(パン)	10,585,672	7,933,531	2,652,141	25.0%
	そうじや(掃除)	2,388,210	2,682,657	▲294,447	—
	内職	298,572	858,321	▲559,749	—
	計	13,272,454	11,474,509	1,797,945	13.5%
我楽	菓子	8,610,138	8,784,857	▲174,719	—
	カフェ	12,911,169	10,519,672	2,391,497	18.5%
	内職	35,099	695,279	▲660,180	—
	計	21,556,406	19,999,808	1,556,598	7.2%
すみれ	BDF	414,069	1,277,383	▲863,314	—
	畑	164,882	102,822	62,060	37.6%
	内職	12,736	75,400	▲62,664	—
	レストラン	11,363,199	10,780,962	582,237	5.1%
	計	11,954,886	12,236,567	▲281,681	—
合計		46,783,746	43,710,884	3,072,862	6.5%

### 《活動経費（原価）率》

柱となる3事業は、ともに黒字運営ができておりますが、経費内訳としては、各事業特有の運営をしていることがわかります。良い点は、各事業共有するとともに、問題点は、他事業の運営を参考にして問題改善を図っていくことが必要であります。

単位：円・%

活動名		材料費		労務費		経費		計
今人	ふえりーちえ (パン)	3,029,532	28.6	2,367,321	22.3	2,536,678	23.9	7,933,531
	そうじや(掃除)	—		1,965,758	82.3	716,899	30.0	2,682,657
	内職	—		551,020	184.5	307,301	102.9	858,321
	計	3,029,532	22.8	4,884,099	36.7	3,560,878	26.8	11,474,509
我楽	菓子	2,782,437	32.3	2,123,915	24.6	3,878,505	45.0	8,784,857
	カフェ	5,570,928	43.1	1,075,147	8.3	3,873,597	30.0	10,519,672
	内職	—		686,385	1955.2	8,894	25.3	695,279
	計	8,353,365	38.7	3,885,447	18.0	7,760,996	36.0	19,999,808
すみれ	BDF	12,465	3.0	117,370	28.3	1,147,548	277.1	1,277,383
	畑	18,082	10.9	10,480	6.3	74,260	45.0	102,822
	内職	—		75,400	592.0	—		75,400
	レストラン	4,475,046	39.3	2,037,420	17.9	4,268,496	37.5	10,780,962
	計	4,505,593	37.6	2,240,670	18.7	5,490,304	45.9	12,236,567
合計		15,888,490	33.9	11,010,216	23.5	16,812,178	35.9	43,710,884

※外注加工賃（外注仕入）は、材料費に含む。

※割合は、対売上高比率

#### ◆パン事業〔今人：生活介護事業など ふえりーちえ〕

「働き方改革」は、1人で製造する職人業務に大きな影響を与え、勤務時間の減少に伴う製造量の減少は否めません。しかし、経費見直し等の要因により、就労収支差額は、いまだ25%以上の利益を維持できております。売上の回復につながる販売先の開拓、さらなる業務改善の遂行で、ご利用者への工賃の向上、設備更新のための積立の実施を実現できる活動へと発展させてまいります。

令和2年度の目標として、米粉パンのラスクを製造して、モンステラ工房と共同で販売先を開拓して、焼き菓子を販売する予定であります。

#### ◆掃除事業〔今人：就労移行支援事業 そーじや〕

現在の委託清掃だけでは、そーじやメンバーの利用者工賃を賄える活動として成り立っておりません。新たな活動として不定期ではありますが、お庭清掃や草刈り作業などを実施してきました。収入額は「底」を脱した感はありますが、定期的な活動として固定収入を獲得すること、掃除のノウハウを指導するなど、活動内容の充

実を図り、もっと多くの工賃を得る仕組みづくりが必要であります。  
令和2年度の目標として、令和元年度比110%を目指し、ゆらくの里やてんとうむし以外からの臨時業務を獲得していきます。

◆内職班〔今人：生活介護事業〕

過去2年の収入を上回ることができましたが、ご利用者の工賃が支払えるだけの活動ではありません。活動目的をはっきりとさせたいうえで、活動実施の必要性を維持し、工賃を目的とした場合には、新たな活動を模索しなければなりません。  
令和2年度の目標として、内職は今人全体の活動と位置づけ、内職班は、法人全体としての農福活動班として、不定期ではありますが、活動に参加することとなります。

◆製菓事業〔我楽：就労継続B型事業 スウィートファクトリー モンステラ〕

パティシエを採用した効果が、令和元年度になって現れてきました。パティシエのみで製造している製品もあり、収入増の主な要因ともなっておりますが、パティシエによる利用者が行なえる新たな製品を提案しつつ、ご利用者でできる作業を増やして、活動が充実するように組み立ててまいります。

◆カフェ事業〔我楽：就労継続B型事業 ナチュラルカフェ モンステラ〕

平成29年度に大きく減少した収入を平成30年度に回復させ、令和元年度には、収入は若干減少したものの、経費の見直し等を行なった結果、収支も増加させることができました。この度の新型コロナウイルスの影響で、店内の飲食を中止せざるを得ないこととなりましたが、影響を最小限に抑えることができ、就労活動ができるカフェとして成り立っております。ご利用者への業務の見直しは必要となります。

◆レストラン事業〔すみれの里：B型事業 ふれあいキッチン「空・SORA」〕

令和元年度、黒字で終わることができましたが、食事やデザートメニューの開発、経費見直しを実践してきた現状において、黒字化の要素は、前年度A型事業所からB型事業所へ切り替えによる（賃金から工賃への）労務費の減少が、大きな要因となっております。

令和2年に入り、新型コロナウイルス感染防止対策として、2月からSORAの営業をしている香芝市総合福祉センターの貸室や温泉の休館、老人会の中止など、収入面で大きな割合であった弁当売上がストップしました。カバーするため対策として、学童保育のお弁当注文や市役所、警察・消防向けに宅配弁当を始めるなど、収入を増やせるよう活動を実施しております。また今後福祉センターの改修につき、一時的に移転しなければなりません。移転場所、販売方法について十分に計画を立てていかなければなりません。

◆モンステラファーム〔すみれの里：就労継続支援 B 型事業〕

平成 30 年度よりも収入は減少する結果となりました。天候に左右され販売できる野菜の収穫量が思うように伸びなかったことや 11 月に香芝市一帯に雹（ひょう）が降り、育ててきた白菜、大和太ネギがほぼ壊滅する被害を受けました。安定した収入や活動となるのは、まだ先のこととなります。令和 2 年度は、法人の農福連携活動が指導します。協力を行ない活動の充実を図ります。

◆環境班〔すみれの里：就労継続支援 B 型事業〕

食用油廃油及び古紙の収集売却が中心の活動で、大きな収入にはつながりませんが、香芝市との連携活動もあり、ご利用者への業務の提供も継続して行なっております。当初助成金にて導入したバイオ燃料精製設備は、現在使用しておらず、設備についての検討（廃棄等）、同設置スペースの使用用途について計画中であります。令和 2 年度においては、環境活動（廃油・廃品回収）と農福の活動で連携を模索してまいります。

◆内職班〔すみれの里：生活介護事業〕

就労ではなく機能訓練の一つとしての活動であり、目的意識をもって取り組んでいきます。令和 2 年度は、農福活動にも担っていける計画を立ててまいります。

※各活動は、就労収入で、ご利用者の工賃の支払いにつなぐことが必要であります。赤字活動で工賃の支払いができていないのであれば、黒字化する工夫が必要でありますし、原点として、各活動におけるご利用者の方の“仕事”の提供が適正であるかを再度見直していかなければなりません。

## □資金残高について

### ◆資金（預金残高）の推移について

#### 1. ゆらくの里拠点・地域拠点

単位：円

	平成 28 年 3 月 31 日	平成 29 年 3 月 31 日	平成 30 年 3 月 31 日	平成 31 年 3 月 31 日	令和 2 年 3 月 31 日
実残高	119,240,492	151,377,738	181,944,978	171,136,846	
積立	58,100,000	85,500,000	97,900,000	114,030,000	
-----					
会計上残	61,140,492	65,877,738	84,044,978	57,106,846	
前期 比較	↑ 26,295,065	↑ 32,137,246	↑ 30,567,240	↓ 10,808,132	

※前期比較は、預金実残高で比較

#### 2. 今人拠点

単位：円

	平成 28 年 3 月 31 日	平成 29 年 3 月 31 日	平成 30 年 3 月 31 日	平成 31 年 3 月 31 日	令和 2 年 3 月 31 日
実残	26,442,409	37,954,166	52,781,383	54,159,856	
積立	12,030,000	16,040,000	24,940,000	25,940,000	
-----					
会計上残	14,412,409	21,914,166	27,841,383	28,219,856	
前期 比較	↓ 18,015,316	↑ 11,511,757	↑ 14,827,217	↑ 1,378,473	

※各事業の収支増に伴い、法人全体の指標より良いと思われる。

### ◆積立金の使用目的について

現在の積立残高は以下のとおりであります。

単位：円

科目	ゆらくの里	今人	地域	計
施設整備等積立金	94,798,000	13,000,000	13,600,000	121,398,000
工賃変動積立金	—	1,495,000	400,000	1,895,000
設備等整備積立金	—	12,245,000	1,500,000	13,745,000
計	94,798,000	26,740,000	15,500,000	137,038,000

## 〇令和1年度研修等報告

### 1. ゆらくの里

#### 〇ゆらくの里

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
5月13日	青葉仁会 施設見学	青葉仁会	北村・中島
6月6日	第1回奈良県社会福祉法人経営セミナー「待ったなしの働き方改革～改正法と助成金制度の概要について～」 奈良県社会福祉法人経営者協議会	THE KASHIHARA	中島
6月9日	「カウンセリング記録」を考える 家族心理士・家族相談士資格認定機構	C I V I 研修センター 新大阪東	中島
9月1日 8日 15日	行動援護従事者研修 けいはんなヘルパーステーション	けいはんなヘルパーステーション	武井
8月4日 18日 25日	行動援護従事者研修 けいはんなヘルパーステーション	けいはんなヘルパーステーション	竹内
8月22日 23日	奈良県相談支援従事者初任者研修 奈良県	奈良県産業会館	黒松・秋田
9月9日	介護支援専門員更新研修	奈良県社会福祉総合センター	黒松
9月12日	介護福祉士実務者研修 広陵町商工会	広陵町	秋田
9月28日	障害と災害を考える集会 秋の四者学習会（奈障連、全障連、障教祖、きょうされん）	奈良県教育会館	中島
10月10日	ケアテック 2019 ブティックス（株）	インテックス大阪	中島、小川 黒松
10月10日 11日	甲種防火管理新規講習 日本防火・防災協会	いかるがホール	武井
10月17日	ご利用者の権利擁護と虐待について 奈良県知的障害者施設協会	奈良県総合福祉センター	山本（武）、 小川、秋田
11月1日 27日 28日	奈良県サービス管理責任者等基礎研修 奈良県福祉医療部長寿・福祉人材確保対策課	橿原市文化会館 王寺町やわらぎ会館	秋田
11月8日 12月10日	介護支援専門員更新研修 奈良県	奈良県総合福祉センター	黒松

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
11月 16日 25日	2019年度 社会福祉士実習指導者講習会 一般社団法人 奈良県社会福祉士会	奈良県社会福祉総合センター	中島
12月 16日	奈良県障害者虐待防止・権利擁護研修 奈良県	奈良県社会福祉総合センター	中島
1月 22日	外国人介護人材受入セミナー 奈良県福祉医療部長寿・福祉人材確保対策	奈良県文化会館	中島
1月 31日	日中活動支援部会等職員研修 近畿地区知的障害者施設協会	尼崎市中小企業支援センター	秋田
2月 5日	社会福祉法人の経営力強化 一般社団法人 福祉経営研究機構	梅田ダイビル	中島
2月 12日 13日 14日	応急手当普及員講習 奈良県広域消防組合	かしはら安心パーク	中島、小川

○栄養士（調理師含む）

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
5月 15日	障害者施設県栄養士の会 研修 障害者施設県栄養士の会	こだまの里	米田
6月 18日	特定給食施設研修 奈良県中和保健所	橿原文化会館	米田・中川 宮本
7月 25日	食品衛生法ハサップ対応と食中毒対策研修 奈良県栄養士会	奈良県社会福祉総合センター	米田
9月 29日	食事摂取基準 2020年版研修 厚生労働省	マイドーム大阪	米田
11月 17日	障がい者施設栄養士の会研修 予防&厨房編のマニュアル作成 奈良県栄養士会	五條学園	米田
12月 26日	食事摂取基準 2020年版研修 奈良県中和保健所長	奈良県社会福祉総合センター	米田



○管理

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
6月 6日	第1回奈良県社会福祉法人経営セミナー「待ったなしの働き方改革～改正法と助成金制度の概要について～」 奈良県社会福祉法人経営者協議会	THE KASHIHARA	森本
7月 23日	令和元年度奈良県経営協セミナー（前期） 奈良県経営者協議会	THE KASHIHARA	森本
7月 26日	「評議員会・理事会」「評議員・理事・監事」の役割・責任・権限とそれぞれの相互関係 全国福祉法人協会	大阪市総合生涯学習センター	森本
8月 9日	「介護職員特定処遇改善加算」徹底解説と組織を伸ばす人事制度のつくり方 奈良県	奈良県商工会議所会館	森本
8月 23日	指導監査に対するための業務改善 TKC社福研	TKPガーデンシティ新大阪	森本
1月 21日	IT活用力セミナー ポリテクセンター奈良	メビウスPC研修センター	西川
2月 5日	社会福祉法人の経営力強化 一般社団法人 福祉経営研究機構	梅田ダイビル	森本

2. 今人・我楽・すみれの里

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
5月 15日 28日	福祉職員キャリアパス対応生涯研修過程 初任者コース 奈良県社会福祉協議会	奈良県総合福祉センター	後藤・大藪 坂本
9月 11日 12日	甲種防火管理責任新規講習 奈良県防災安全協会	香芝市ふたかみ文化センター	森田
10月 12日	凸凹でこぼこがあってもいいじゃない ～自立を支えるためのトライアングル：教育、福祉、家庭から～ 奈良県発達障害者支援センターでいあー	奈良県文化会館	北井
11月 19日	働き方改革を進めるために 葛城労働基準監督署	奈良県産業会館	森田
11月 26日	働き方改革を進めるために 葛城労働基準監督署	奈良県産業会館	吉田
11月 26日	やる気と能力を引き出すファシリテーション (公財) 介護労働安定センター	奈良県橿原文化会館	森田

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
12月 12日 13日	これからの福祉施設のあり方を県外 先進施設から学ぶ 奈良県心身障害者施設連盟	大阪・和歌山	森田、大藪 大森
1月 31日	近畿地区日中活動支援部会職員研修 会 近畿地区知的障害者施設協会	尼崎市中小企業支援 センター	北井
2月 15日	凸凹でこぼこがあってもいいじゃない ～自立を支えるためのトライア ングル：教育、福祉、家庭から～ 奈良県発達障害者支援センターでい あー	奈良県文化会館	北井
2月 6日	HACCPの考え方を取り入れた衛生管 理研修会 公益社団法人奈良県食品衛生協会	奈良県社会福祉総合 センター	松本
2月 12日 13日	第56回近畿地区知的障害者施設職 員研修会 兵庫県知的障害者施設協会	神戸市	森田

### 3. 相談支援事業

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
6月 6日	奈良県障害者支援区分認定調査員研 修	橿原分庁舎	疋田
6月 6日	第1回奈良県社会福祉法人経営セミ ナー「待ったなしの働き方改革～改 正法と助成金制度の概要について ～」 奈良県社会福祉法人経営者協議会	THE KASHIHARA	吉岡

### 4. 児童課

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
8月 22日 23日	奈良県相談支援従事者初任者研修 奈良県	奈良県産業会館	堺井・原田
8月 31日	発達障害のある子ども・若者たちの 困り感と支援の考え方 でいあ～	奈良県産業会館	吉岡・浦田 大森・堺井 原田・森田 的場・田林 村井・今仲
9月 28日	発達障がいのある子どもへのタブレ ット端末を使った学習支援 大阪医科大学	大阪医科大学LDセ ンター	原田

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
11月11日	障害者虐待防止・権利擁護研修 奈良県障害福祉課	奈良県社会福祉総合センター	吉岡、浦田
12月14日	ダウン症の子どもの発達を支える ～身体の発達と合併症のお話～ 大阪医科大学	大阪医科大学LDセンター	浦田

#### 5. 地域支援（グループホーム）

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
6月6日	奈良県障害者支援区分認定調査員研修	橿原分庁舎	福本
8月22日 23日	奈良県相談支援従事者初任者研修 奈良県	奈良県産業会館	福本
9月24日	平成31年度障がい者総合支援制度における指定事業者・施設及び大阪市移動支援事業者集団指導 大阪市	コミュニティプラザ平野	松下
11月26日	働き方改革を進めるために 葛城労働基準監督署	奈良県産業会館	松下

#### 6. 事業企画推進室

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
4月5日	経済連携協定（EPA）に基づく外国人看護師・介護福祉士候補者 受入れ説明会 公益社団法人国際厚生事業団	毎日ビルディング オーバルホール	西原
5月13日	青葉仁会 施設見学	青葉仁会	中山
6月6日	第1回奈良県社会福祉法人経営セミナー「待ったなしの働き方改革～改正法と助成金制度の概要について～」 奈良県社会福祉法人経営者協議会	THE KASHIHARA	中山
7月19日	新卒採用支援セミナー マイナビ	㈱マイナビ奈良支社	西原

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
7月29日	安全運転管理者講習 奈良県安全運転管理者協会	香芝市中央公民館	西原
8月1日	近畿地区生産活動・就労支援部会研修会「農福連携について」 近畿地区知的障害者福祉協会	青葉仁会	中山
8月9日	“介護職員特定処遇改善加算” 徹底解説と組織を伸ばす人事制度の 作り方 奈良県	奈良商工会議所会館	中山、西原
8月29日	マイナビ採用戦線報告会 (株)マイナビ大阪支社就職情報事 業本部	(株)マイナビ 奈良支 社	中山、西原
9月13日	施設協会新任職員研修会 「職員としての心構え」 県施設協会	ボノボビル	中山
10月11日	若者が長く続ける採用の仕方 キャリア・サポートみらい	奈良県産業会館	中山、西原
10月17日	施設協会中堅職員研修会「虐待防止」 県施設協会	奈良県社会福祉総合 センター	中山
11月7日	奈良県社員・シャイン職場づくり 推進事業セミナー 「ワーク・ライフ・バランスと人材 確保」 奈良県社会保険労務士会	奈良県社会福祉総合 センター	中山、西原
11月10日	マイナビ EXPO 見学会 ～合同就職イベントでの ブース運営手法について～ (株)マイナビ大阪支社就職情報事 業本部	インテックス大阪	西原
11月11日	障害者虐待防止・権利擁護研修 奈良県	奈良県社会福祉総合 センター	西原
11月15日	関西 総務・人事・経理 Week リード エグジビション ジャパ ン	インテックス大阪	中山、西原
11月19日	「働き方改革」を進めるために 「働き方改革」を進めるために	奈良県産業会館	中山
11月20日	IT 活用力セミナー (ネット炎上と SNS の危険性) 県心身障害者施設連盟	ポリテクセンター奈 良	西原
11月22日	災害対応研修 (株)アイデム 人と仕事研究所	アイデム西本町ビル	西原
11月27日	広報研修会 (マーケティング発想で変わる 広報・コミュニケーション戦略) 県社会福祉法人経営者協議会	大阪社会福祉指導セ ンター	西原

月日	研修等内容 主催など	開催場所	参加者
1月21日	採用力強化セミナー 近畿経済産業局・奈良労働局	奈良文化会館	中山、西原
2月12日	奈良県経営協セミナー（後期） 県社会福祉法人経営者協議会	奈良ロイヤルホテル	中山、西原
2月26日	パワーハラスメント等対策セミナー 奈良労働局	ホテルリガーレ春日 野	西原

## 苦情・要望等についての解決状況

平成31年4月1日から令和2年3月31日

事業区分	受付			苦情先		苦情内容				処理状況	
	電話	直接	その他	第三者委員	施設	施設設備（運営）に対するもの	支援（支援者）に対するもの	利用者に対するもの	その他	対応解決済	継続実施中
ゆらくの里	4	11	0	0	15	3	11	0	1	15	0
今人・我楽すみれの里	6	4	5	0	15	5	6	1	3	15	0
児童課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
のあ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そーる	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	10	15	5	0	30	8	17	1	4	30	0

### 《ゆらくの里》

分類	苦情等内容	回答
支援	ご家族より 緊急連絡先を1年前に手術をした病院ではないのか？	入院先は、法人提携病院であるため、何かあった場合の連絡先となっている。また夜間帯であったため、1年前に入院した病院においても情報が共有できていなかったようで謝罪した。
支援	ご家族より ゆらくの里の改修工事中に自分たちはどうなるのかと不安になっている。	情報がご利用者に漏れていることについて謝罪。現時点では何も決まっていないため、決まれば情報開示を行なうことを伝達。

分類	苦情等内容	回答
支援	オンブズマンより <input type="checkbox"/> 車椅子の拘束について <input type="checkbox"/> 生活空間について	<input type="checkbox"/> ご家族様の要望や安全対策として実施しているが、時間を減らしていく努力はしていく。 <input type="checkbox"/> 改修工事による住み分けや施設の移行など、本人に満足していただける支援を検討する。
その他	ご家族より ゆらくの里に行った際に、洋便器がない。身体的な不安から洋便器の設置をお願いしたい。	建て替え時に要望を出す、今すぐの対応は難しい。
支援	ご本人より <input type="checkbox"/> 人との会話中に割り込んでくるご利用者がいる。 <input type="checkbox"/> 理髪で待ち時間が長く、昼食に間に合うか不安に思った。	<input type="checkbox"/> 両者と話をする機会を設け、割り込まずに待てる支援の構築を行なう。 <input type="checkbox"/> 早い順番で行ってもらえるように依頼。
支援	オンブズマンより <input type="checkbox"/> ご利用者の座位について <input type="checkbox"/> パンフレット等の写真について <input type="checkbox"/> ご利用者の地域移行について	<input type="checkbox"/> 車椅子のリクライニング等の調整で気を付けていく。 <input type="checkbox"/> 退所された方などの写真を差し替えるようにする。 <input type="checkbox"/> 今すぐは難しいが、希望される方への取組計画はある事を伝える。
支援	オンブズマンより <input type="checkbox"/> 療養型病院の生活について <input type="checkbox"/> 拘束について <input type="checkbox"/> ご利用者の怪我について	<input type="checkbox"/> 移行後の生活について病院に打診して見せていただくようにする。 <input type="checkbox"/> 気づきと振り返りをもって拘束について考える時間を設けることを伝える。 <input type="checkbox"/> 怪我の経緯や経過をお伝える。
支援	ご本人より <input type="checkbox"/> (昼食メニューが) 選択メニューである事をいやがる。	<input type="checkbox"/> 選択メニューと違うメニューを提供したが受け入れてもらえず、昼食を拒否された。今後同様なことがあった場合の対応を検討。
支援	オンブズマンより <input type="checkbox"/> 利用者が外に出掛ける機会を増やして欲しい。 <input type="checkbox"/> 居室内の布団が床に落ちていることが気になった。	<input type="checkbox"/> 人員不足の兼ね合いで、余暇の充実が足りないことを伝えていますが、外に出る機会が増えるよう取り組みを考えて行きたいと伝えていきます。 <input type="checkbox"/> 配置職員には、意識するよう伝達を実施しました。
支援	ご家族様より 前回の帰省の際、頭部に傷が見られた。また、足の指の爪が剥がれている。	ご本人の特性上、気になると搔いてしまわれ、それが傷になっていることを謝罪しております。

分類	苦情等内容	回答
支援	ご家族様より 足の指の爪が剥がれている。	足の傷に関しては、こちらの確認不足で伝達出来ていなかったため、看護師を含め謝罪しています。ただ、一人の時間に自傷されるものであるため、予防することは難しく、帰省前に全身を確認し事前にお伝えるように職員に伝えています。
支援	オンブズマンより 居室に置かれたポータブルトイレで排泄された方の排泄物がそのままの状態になっていた。	ポータブルトイレの中身を片付ける時間設定はありますが、対象ご利用者は自身でトイレに行かれることもあるため、職員が気付いていない時があることを伝えています。配置職員には意識するように伝達します。
支援	ご家族様より 息子が職員に声を掛けると「今、忙しい」と云われる時がある。利用者に対して、それは云うべき言葉では無いのではないかと。	帰省時に送ってこられた際には何もおっしゃられず、書面に書かれていたもので、ご本人とは直接説明は出来ておりません。現場職員には、発言した状況の判断が付きませんが、利用者に対しての言葉遣いには気を付けるよう伝えています。1/11に電話にて謝罪しています。
支援	ご家族様より 持ち帰っていただく書類が入っていた。	謝罪し正式な書類をご家族様には送付しました。一人の職員の間違いでしたが、個人情報保護に抵触する案件であるため、情報の取り扱いには細心の注意を払うように全員に通達しています。

《今人・我楽・すみれの里》

分類	苦情等内容	回答
運営	ご家族より 事前に聞いていたSORA弁当の注文書が届いていなく、いついただけるか電話連絡あり。	ノートに挟むことを職員が忘れていたことを謝罪。基本的に、月末又は月初に連絡ノートを通じてお渡ししていることを説明。
その他	商品購入者より まほろばキッチンにて、購入したラスクに髪の毛が入っていたという手紙と購入したラスクを送っていただき、知らせてくださる。	ご自宅へ訪問して謝罪。改善として、作業前確認の再徹底を実施して、古くなった作業帽を交換。工房入室前の作業服の汚れ取り状況を確認。



分類	苦情等内容	回答
運営	ご家族より 欠席の連絡があったご利用者のところへ迎えに行き、ご利用者を困惑させてしまう。	直接夕方に謝罪。送迎担当者が連絡用携帯電話の確認を徹底することとし、送迎実施時には、必ず連絡用携帯電話を持っていくこととしております。
その他	ご家族より 家族会費を振り込んだにもかかわらず、催促の案内があったことで確認方法に対する苦情	入金確認は、家族会で実施されております。施設側でも報告のみにかかわるのではなく、確認についても必要な協力は実施させていただく旨をお伝えしております。
運営	ご家族より スタッフ連携不足で、朝いつもの時間にお迎えに行けず、待たせてしまう。ご家族から連絡をいただいてからお迎えに行くこととなった。	遅れたことを謝罪。送迎の一部変更があったため、変更等の共有は事前に行ない、確認の上で送迎を実施することとします。
支援	ご家族より グループホームでの生活面（設備面、食事面、対応面）に対する相談	グループホーム担当職員と情報共有し、連結し改善を図っております。
運営	ご家族より <input type="checkbox"/> ご家族が高齢で免許返納を検討しており、通所時の送迎についての相談。 <input type="checkbox"/> 移動支援を使いたいが、申請等をどのようにしたらよいか？	<input type="checkbox"/> すみれの里からの送迎を開始。利用の継続を図っております。 <input type="checkbox"/> 相談支援担当者、行政に連絡調整を行ないます。
支援	ご家族より ゆらくの里への入所を9月より開始。本人の様子の変化等を教えてほしい。	ゆらくの里担当職員とも情報共有し連携を図っております。ご家族には、すみれの里ご利用時の面会もできる旨をお伝えしております。また食事面での心配事もあるため、おやつや補食の提供について相談を行ないました。
その他	ご家族 家族会、親同士の横の連携をもっと深めていきたい。（連絡先などを共有していただきたい）	管理課長へ報告。家族会への提案事項としていただくようお願いしました。
支援	ご本人より 唾を吐く利用者を何とかしてほしい。	当該利用者の支援を継続しつつ、他利用者に不快な思いにさせないように、集団で過ごす場面や廊下などですれ違い時に迷惑にならないように職員が付き添い対応していくこととします。
支援	ご家族より ボランティアさんの来所活動について、ボランティア側の都合もあるが、実施日に偏りがないように調整をお願いしたい。	新年度に向けて、ボランティア受け入れについての再考と現状確認を実施する予定であります。（市ボランティアセンターと連携）

分類	苦情等内容	回答
支援	ご家族より 12月頃から自宅に引きこもりがちになっている。事業所の利用頻度も減ってきている。以前のように毎日利用するようになってほしい。	休みの常態化防止、通所意欲を高めるために家庭訪問による毎日の様子伺いやノートなどで本人と活動に関するやり取り等を実施。事業所だけでなく相談支援事業職員とも連携を取り対応しているが、来ることができていない日も多く、今後も対応は継続していきます。
支援	ご家族様・後見人様より 通所事業利用後すぐに通院介助のサービス利用を考えている。迎えに行くヘルパーに利用者の引継ぎをお願いしたい。また貴重品（保険証や現金）の受け渡しをお願いしたい。	要望通り実行させていただきます。
支援	ご本人より 当該ご利用者がお休みと勘違いし、朝のお迎えを忘れてしまう	送迎の職員が休みと勘違いし、お迎えをとばしてしまった。深く謝罪しました。送迎開始前にお迎え実施ご利用者の確認を怠らないようにします。
支援	ご家族より 自宅からつけてきたマスクを付けて帰らなかった。	ご本人がマスクを度々取り外す事実は報告し、帰りにマスクをされていなければ、外されたマスクをビニール袋に入れるなどしてご家族に返却することとします。

《児童課》

特になし

《そーる（行動援護等）》

特になし

《のあ（共同生活援助）》

特になし